家族や身近な人との関係を見つめ直し、
人権や差別について話し合う機会を持ちましょう。

人権作文

福祉を学んで知ったこと

波野中学校3年　市原詩音

『障がいを持つ』、私は障がいがある人を今まで『かわいそう』だと思っていました。毎日の生活がとても大変で、生きることがつらいのではないか、と勝手に思い込んでいました。しかし、福祉のことを学んでいくにつれて、考え方がどんどん変わっていきました。

私たちの学年では、総合的な学習の時間で福祉について学びます。今までの学習で、ユニバーサルデザインの話を聞いたり、認知症サポーター講習会を受けたりしました。また、実際に生徒たちが体験する疑似体験学習もしました。

さらに私たちは、福祉施設で二日間の福祉体験を行うなど、学びを重ねてきました。学習の中で、気づいたことがあります。障がいを持つ方は決して『かわいそう』ではない、ということです。授業の中で、障がい者の方や高齢者の方の趣味や特技の話を聞く機会がありました。半身麻痺で、しかも視覚障がいのある方が、とても細やかできれいな鍋敷きを作っていたり、マラソンを全力で走っていたりしていました。この話を聞いて私は驚きました。前向きに生きている方がたくさんいらっしゃるのです。そういう方に『かわいそう』だなんて、失礼だなと気づきました。

また、授業のゲストティーチャーの方にインタビューする機会がありました。車椅子を使用されている方の「周りの人が思っているほどには自分は大変と思っていない。」「特別扱いはしなくていい。だけど困っていたら助けてほしい。」という言葉が印象に残りました。実際に話を聞いて、周りの人が『かわいそう』とか『大変そう』と決めつけることで壁ができていたということがわかりました。特別扱いすることが『自分はほかの人と違う』という考えになり、知らぬ間に相手を傷つけているのかもしれません。自分とは違うから『かわいそう』と思うのは、差別の一つでした。

「疑似体験学習」では、大切なことを学びました。それは、車いすの体験です。平らな道なら一人でも進むことができました。しかし、バスに乗るときが問題でした。一人で乗ることができず、抱えてもらいました。このとき、とても不安で『迷惑じゃないかな』と心配でとても申し訳ない気持ちになりました。もちろん、このように感じない人もいるでしょう。しかし、申し訳ないと感じる人がいるなら、どう対応するか考えるべきです。そこで、ふと思い出したのは、何度も講師の先生が言われた『優しい声掛け』でした。優しく、『大丈夫ですか』『〇〇があるから気を付けてください』と声をかけてもらうだけで、サポートされている側も不安な気持ちが和らいできました。

私たちはサポートされる側とする側の両方を体験しました。ここで気づいたのは、サポートする時は、『手伝いたい』という気持ちが強く、『迷惑だ』『めんどくさい』などという気持ちは全くないということです。しかし、自分が体験した通り、助けを求める時には相手のことを気遣ってしまって、声をかけにくい場合もあると思います。そのときに、学習したことを生かして、サポートする側が『大丈夫ですか。手伝いましょうか』と言える勇気を持ちたいです。

私は福祉を学んで三つのことを知りました。一つ目は、『障がいがあるのはかわいそう』という決めつけが差別心だということ。二つ目は、サポートするときには、優しい声掛けが大切だということ。三つめは、だれでも一声掛ける勇気を持てば、助けることができるということです。福祉について学ばなかったら、間違った認識で社会に出ていたかもしれません。今回学ぶことができて本当に良かったです。

今回学んだことは、福祉以外にも通じると思います。決めつけがいじめや差別を生むということです。もし誰かがいじめられたり差別を受けたりしたら、見て見ぬふりをするのではなく、優しく声をかける。そして、行動に移す勇気を持てば、いじめや差別はなくなっていくと思うのです。私は、このようなことを行動に移すことができる人間でありたいです。そして、行動に移すことができる仲間を作っていきたいと思います。

先生からのコメント

詩音さんを含む三年生は、今年学習した福祉体験から自分の中にある『ものさし』を見つめ直してきました。『できないことがある』ということは不幸であるという思い込みが、学習を進めるにつれて変容してきていると感じています。社会福祉協議会の方たちからは、たくさんのことを学ばせていただきました。ここで学んだ『とらえなおし』は生活の中にある様々な見方・考え方に通じると思います。詩音さんのように自分のとらえ方を見直し、共生していく姿を広げていくことが、差別をなくす仲間づくりにつながっていくと期待しています。

人権作文　平成27年度　阿蘇市人権作文集「かけはし」より　※学年は平成27年度時点。

阿蘇医療センター
〒869-2225　阿蘇市黒川1266
☎34-0311／Ⓕ34-2273

地域医療！ 阿蘇医療センター通信
Aso Medical Center #13

地域中核病院としての役割
当院は「くまもとメディカルネットワーク」の利用施設です

くまもとメディカルネットワーク（熊本県地域医療等情報ネットワーク）とは、公益社団法人熊本県医師会が事業主体で行っている利用施設「病院・診療所・歯科診療所・薬局・訪問看護ステーション・介護施設等」をネットワークで結び、参加者（患者さん）の診療・調剤・介護に必要な情報を共有し、医療・介護サービスに活かすシステムです。

参加者（患者さん）の受診時の状況や治療歴、検査データ、画像データなどを利用施設で共有できるようになり、より質の高い医療や介護を受けることができるようになります。

利用施設間で情報共有

どんなメリットがあるの？

利用施設の間で、参加者（患者さん）の受診時の状況や治療歴、検査データ、画像データなどを共有できるようになり、治療の経過や効果などをわかりやすく説明を受けることができようになります。
震災により、熊本市などへの通院が困難になった方なども、かかりつけの病院などが本ネットワークの利用施設であれば当院で情報が共有できます。

くまもとメディカルネットワーク参加の流れ

- **●参加申込**　当院に「くまもとメディカルネットワーク参加同意書」がありますので、必要事項をご記入ください。
- **●登　　録**　くまもとメディカルネットワークサポートセンター（熊本県医師会）が情報を登録します。
- **●情報の共有**　くまもとメディカルネットワークに参加している病院等で、患者さんの診療・調剤などに必要な情報が共有されます。

（問）阿蘇医療センター 地域医療連携室　☎34-0463

図書館へ行こう！ Aso Library News

㊐阿蘇図書館 ☎ 32-0067 ／一の宮図書館 ☎ 22-2916　http://www.aso-lib.jp/

お知らせ　library information

2016・第 70 回 読書週間
期間：10 月 27 日～ 11 月 9 日

「読書週間」は、終戦の２年後の１９４７（昭和２２）年に第１回が開かれて以来、日本中に広がり、日本は世界のなかでも特に「本を読む国民」の国となりました。

ことしの「読書週間」が、みなさん一人ひとりに読書のすばらしさを知ってもらうきっかけとなることを願っています。

おはなしアップルのおはなし会

おはなしボランティアアップルのおはなし会を開催！皆さん、ぜひご参加ください。

●と　き　11 月 26 日㊏ 午後２時から
●ところ　阿蘇図書館おはなしコーナー

移動図書館　bookmobile

阿蘇・一の宮地区（11 月 4 日㊎・12 月 2 日㊎）

竹原公民館	9:40 ～ 10:00
▼	
坊中公民館	10:10 ～ 10:30
▼	
佐伯商会前	10:35 ～ 10:50
▼	
赤水駅前	11:15 ～ 11:35
▼	
宮本酒店前	11:40 ～ 12:00
▼	
西役犬原公民館	13:40 ～ 14:00
▼	
坂梨公民館	14:20 ～ 14:40
▼	
古城公民館	15:00 ～ 15:20

波野地区（11 月 8 日㊋・12 月 6 日㊋）

波野保健福祉センター	11:40 ～ 12:00

※天候や道路状況により巡回を中止することもありますのでご了承ください。

※移動図書館に関するお問い合わせは、阿蘇図書館（☎３２ － ００６７）にお願いします。

新刊案内　just published

『芝浜　落語小説集』

時代小説の第一人者が、「落語の人情世界」をノベライズ。夫婦の愛情を温かく描く「芝浜」、船場の商家を舞台にした「百年目」など、全５編を収録。

山本一力／著
（小学館）

『地上の星』

日葡辞書を作る男のもとで働いた「おせん」、美しい姫として天草の民に愛された「お京」、天草五人衆の中心人物「麟泉」…。運命に翻弄される彼らは何を「地上の星」として見定めるのか。戦国末期の日本を鮮烈に描く歴史長編。

村木 嵐／著
（文藝春秋）

『ジビエ・バイブル』

フランスをはじめとした欧州の秋冬の風物詩、ジビエ（野鳥獣）料理。飲食店でよく使われる野鳥獣を中心に、それぞれの肉の特徴や扱い方のコツ、料理を写真とともに紹介。狩猟及び捕獲の現場も取材する。

川崎誠也ほか／著
（ナツメ社）

『プーさんとであった日』

獣医師が戦地に向かう途中で出会った子グマのウィニーは、軍隊のマスコットとなり、やがてイギリスに渡り、クリストファー・ロビンという少年と出会い…。世界中で愛されているクマのプーさんの真実の物語。

リンジー・マティック／ぶん
（評論社）

広告

塗装・防水工事・メンテナンス

株式会社 井上

〒869-2302
熊本県阿蘇市三久保448番地22
web　http;//www.aso-inoue.com/
E-mail　info@aso-inoue.com

塗装 防水

塗装内容
（屋根・壁・破風板・軒天・デッキ・塀・他）

防水内容
（雨漏れ調査・屋上・ベランダ・コーキング・他）

-お見積・調査　無料-

もしもし 0967-32-1501